

## 再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	一般県道 <small>おぶちこうなん</small> 小渕江南線				
事業箇所	丹羽郡扶桑町大字 <small>にわぐんふそうちょう おぶち みなみやな</small> 小淵～大字南山名				
事業のあらまし	<p>一般県道小渕江南線は、丹羽郡扶桑町から江南市に至る延長 6.9km の路線であり、起点部が(仮称)新愛岐大橋の取付道路となる重要な路線である。</p> <p>(仮称)新愛岐大橋の架橋予定箇所の下流にある愛岐大橋は、災害時の緊急活動や愛知県と岐阜県の交流・産業振興を支える重要な路線であるが、慢性的に渋滞が発生している状況である。</p> <p>このため、「陸・海・空一体の国際競争力の強化」、「地域の活性化」、「地震・津波対策の推進」を主な目的として、愛知県・岐阜県とのさらなる交流や産業振興、交通の円滑化を図るとともに、当地域における大規模災害時等の円滑な救援・復旧活動を可能にするため、(仮称)新愛岐大橋の架橋に合わせ、取付区間の現道拡幅事業を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>(1) 陸・海・空一体の国際競争力の強化(主要物流拠点・生産拠点へのアクセス性向上)</p> <p>(2) 地域の活性化(地域の主要渋滞箇所の渋滞緩和)</p> <p>(3) 地震・津波対策の推進(緊急輸送道路ネットワークの強化)</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2017年度)	再評価時 (2022年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2017年度 ～2024年度	2017年度 ～2027年度	用地交渉の難航	
	事業費(億円)	14.3	14.3		
	経費内訳	工事費	5.6	5.6	
		用補費	7.7	7.7	
その他		1.0	1.0		
事業内容	現道拡幅 延長 L=0.4km 幅員 W=18.0m 2車線	現道拡幅 延長 L=0.4km 幅員 W=18.0m 2車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備 ・上流の犬山橋の交通量は 15,849 台/日、混雑度は 1.22、下流の愛岐大橋の交通量は 21,552 台/日、混雑度は 1.36 となっており、慢性的に渋滞が発生している状況である。(H27 道路交通センサス結果)</p> <p>(2) 国際競争力を強化する基盤整備 ・岐阜県各務原市には、航空宇宙産業関連企業が集積しており、アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区に指定されている。また、当地域内で生産された航空製品の大部分は愛知県へ流通しており、小渕江南線及び(仮称)新愛岐大橋の整備は県営名古屋空港周辺地区等の愛知県内の特区を結ぶルートとなる。</p>			

	<p>(3) 地震・津波対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次緊急輸送道路の計画路線に指定されている。</li> <li>・また、上流の犬山橋、下流の愛岐大橋ともに第二次緊急輸送道路に指定されており、特に愛岐大橋は昭和43年度に架橋され、架橋後50年近く経過している橋梁であり、その補修等の際の代替性が期待できる。</li> </ul> <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前評価時と比べ、状況に変化はない。</li> </ul> <p>【変動要因の分析】</p> <p>前回評価時から、状況の変動要因はなく引き続き整備の必要がある。</p>																																																																																																																																							
	<p><b>判定</b></p> <p><b>B</b></p> <p>A：事業着手時に比べ必要性が増大している。  <b>ⓑ</b>：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。  C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p> <p>【理由】</p> <p>地域の渋滞緩和、主要生産拠点へのアクセス性向上、緊急輸送道路ネットワークの強化の観点から、事業の必要性にほとんど変化がないため。</p>																																																																																																																																							
②事業の進捗状況及び見込み	<p>1) 進捗状況</p> <p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2017~2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・橋梁工</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td>←</td> <td>→</td> <td>←</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td>9.5</td> <td colspan="2">4.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>14.3</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5.3</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.4</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>5.3</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">8.9</td> <td></td> <td></td> <td>14.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.4</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>0.4</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>9.5</td> <td>5.3</td> <td>56%</td> <td>14.3</td> <td>38%</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>4.3</td> <td>0.4</td> <td>9%</td> <td>5.6</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>4.2</td> <td>3.9</td> <td>93%</td> <td>7.7</td> <td>51%</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>100%</td> <td>1.0</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は約99%</p> <p>【施工済みの内容】</p> <p>—</p>			2017~2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種区分	調査・設計	←						→		用地補償	←		→						工事	←						→		・土工	←						→		・橋梁工			←	→						・舗装工			←	→	←	→	←	→	事業費(億円)	当初計画	9.5	4.8						14.3	実績	5.3							5.4	今回計画	5.3			8.9				14.3		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(km)	0.4	0	0%	0.4	0%	事業費(億円)	9.5	5.3	56%	14.3	38%	工事費	4.3	0.4	9%	5.6	7%	用補費	4.2	3.9	93%	7.7	51%	その他	1.0	1.0	100%	1.0	100%
			2017~2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																																																																																																														
工種区分	調査・設計	←						→																																																																																																																																
	用地補償	←		→																																																																																																																																				
	工事	←						→																																																																																																																																
	・土工	←						→																																																																																																																																
	・橋梁工			←	→																																																																																																																																			
	・舗装工			←	→	←	→	←	→																																																																																																																															
事業費(億円)	当初計画	9.5	4.8						14.3																																																																																																																															
	実績	5.3							5.4																																																																																																																															
	今回計画	5.3			8.9				14.3																																																																																																																															
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																				
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																																																																			
延長(km)	0.4	0	0%	0.4	0%																																																																																																																																			
事業費(億円)	9.5	5.3	56%	14.3	38%																																																																																																																																			
工事費	4.3	0.4	9%	5.6	7%																																																																																																																																			
用補費	4.2	3.9	93%	7.7	51%																																																																																																																																			
その他	1.0	1.0	100%	1.0	100%																																																																																																																																			
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地難航により用地の確保に時間を要したため。</li> </ul>																																																																																																																																							

3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得に時間を要している箇所はあるものの、用地を取得できる見通しがあり、大きな阻害要因はない。</li> </ul> <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年度までに事業が完了する予定である。</li> </ul>
判定	<p><b>B</b></p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得に時間を要したものの、今後は阻害要因がなく、2027年度までに事業完了が見込まれるため。</li> </ul>
<b>III 対応方針</b>	
<b>継続</b>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>
<b>IV 事後評価実施の有無と主な評価内容</b>	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度</p>	